

令和7年度 全国学力・学習状況調査 調査結果（公立小中学校） 摂津市教育委員会

【調査実施日・参加者数】
令和7年4月17日（木） 小学校10校の6年生623人（府：68,102人）、中学校5校の3年生573人（府：65,298人）

●今回お知らせする結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

【調査の目的】
◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
◇学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

【調査結果の概要】 ※理科については、3年に一度の実施
小学校：国語・算数ともに対全国比は昨年度より下降した。理科は前回調査（R4）より下降した。
中学校：国語は対全国比が昨年度よりも上昇し、全国平均との差が縮まった。数学は大きな変化はなく、理科は前回調査（R4）から上昇した。

【質問紙調査結果の概要】
・小中学校ともに「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」「分からないことやわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできているか」という学びに向かう姿勢に関する質問で、全国平均とおおむね同様となった。
・小中学校ともに、「自分には、よいところがあると思うか」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うか」という自尊感情における質問において、肯定的回答の割合が増加した。
・小学校では、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか」という地域や社会への関わりに関する質問で、肯定的回答の割合が増加した。
・中学校においては、「将来の夢や目標を持っているか」の質問で、肯定的回答の割合が増加した。
・小中学校ともに、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつも相談できますか」という安全・安心な学校に関する質問で、肯定的回答の割合が増加した。
・小中学校ともに、「授業時間以外に、1日どれくらいの時間、勉強をしますか」の学習習慣に関する質問で、「全くしない」と回答した児童生徒の割合が増加した。

【結果分析からみられる課題】
・国語では、複数の情報から要旨を的確に把握し、読み手や他者の立場・発言を考慮しながら、自分の考えを論理的に説明する力に小中共通の課題が見られる。
・算数及び数学では、論理的に思考し、数学的な表現を用いて分かりやすく説明する力に小中共通の課題が見られる。
・課題解決に向けて主体的に学ぶとする意欲は、全国平均とおおむね同様だが、令和6年度に比べてわずかに低下している。
・授業以外で勉強する時間が減少し、大阪府や全国平均との差が広がっている。

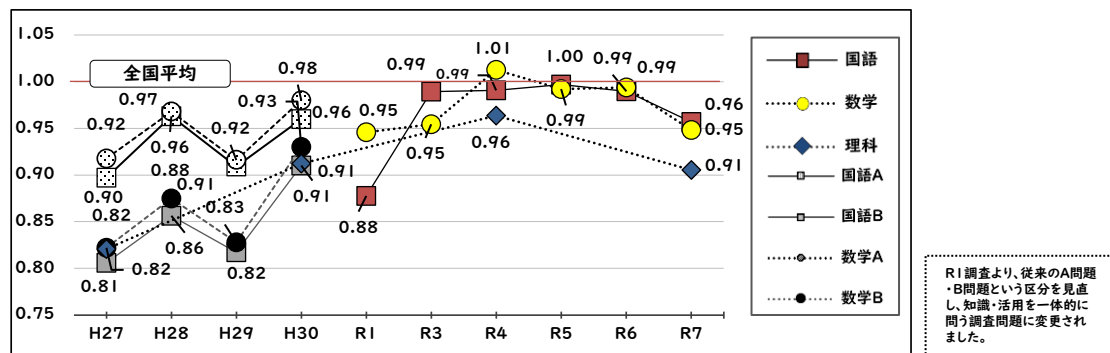
【課題解決のための方策】
〈学校〉
・共通の課題である「自分の考えを論理的に説明する力」を育成するため、「何のために話し合うのか」「なぜ伝える必要があるのか」という問いを基盤に、思考を深める話し合い活動や記述・発表を単元全体の学習活動へ組み込み、授業を展開する。
・自尊感情が向上している肯定的な状況を土台とし、児童生徒が学習の意義や目的を実感しながら、主体的に課題解決に取り組む学習場面を教育活動全体で積極的に創出する。
・授業時間外に「全く勉強しない」と回答した児童生徒の割合が増加している実態を踏まえ、児童生徒と保護者に対して家庭学習の重要性を啓発するとともに、各校の実態に応じて効果的な家庭学習の内容や方法を具体的に指導し、学習習慣の定着を支援する。

〈家庭〉
・授業以外での学習時間が減少傾向にあることを踏まえ、スマートフォン等の使い方や家庭での学習時間に関するルールを設けるなど、基本的な生活習慣・学習習慣を育むための支援を行う。

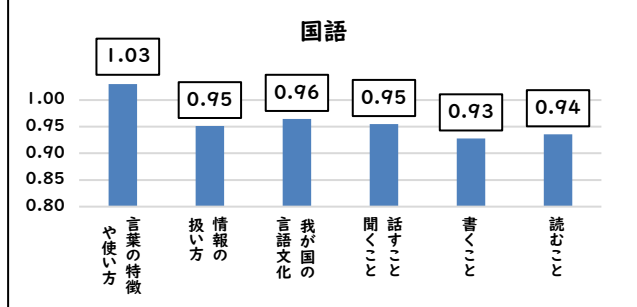
〈教育委員会〉
・授業改善を支援するため、定期的な学校訪問及び校内研修会への指導主事の派遣を通じて、授業力向上や組織的な取組の推進について、具体的な指導助言を行う。
・本市の課題解決に向け、成果の見られた学校の取組を意義・目的と合わせて普及するとともに、保護者に対して家庭学習の重要性について啓発する。
・各校の学力向上担当が参加する研修会において、調査結果の分析方法や各校の好事例を共有し、自校の課題を明確に把握した上で、具体的な改善策に取り組めるよう支援する。

小学校

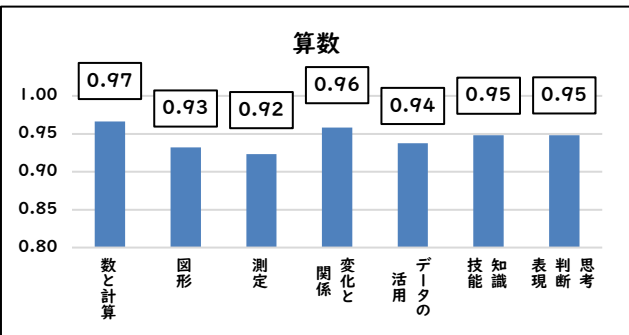
※対全国平均比は、全国平均の数値を1としたときの摂津市の値を表します。



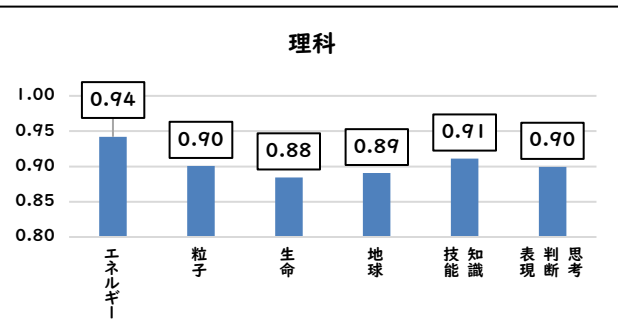
	令和7年度 正答率		
	国語	算数	理科
全国	66.8	58.0	57.1
大阪府	65.5	57.5	54.5
摂津市	63.9	55.0	51.7
対全国比	0.96	0.95	0.91



「言葉の特徴や使い方の」領域における問題で全国平均を上回っている。一方、「書くこと・読むこと」の領域における問題の正答率が低く、特に複数の情報から要旨を把握する力、読み手の立場に立って文章を構成する力に課題が見られる。



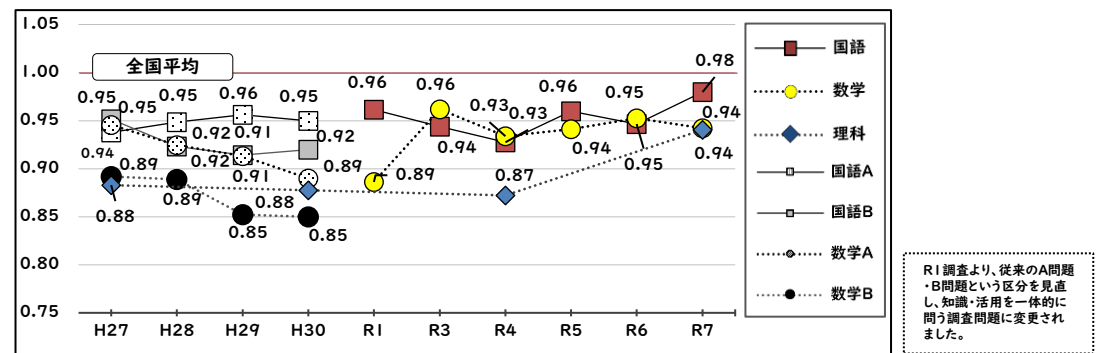
「数と計算」の領域における基礎的な知識・技能は概ね定着している。一方、「図形」や「データの活用」に関する問題の正答率が低く、論理的に考え、分かりやすく説明する力に課題が見られる。



「エネルギー」の領域における問題では、他の領域と比較して高い正答率である。一方、「思考・判断・表現」を問う問題で正答率が低く、観察や実験の結果を根拠に説明する力に課題が見られる。

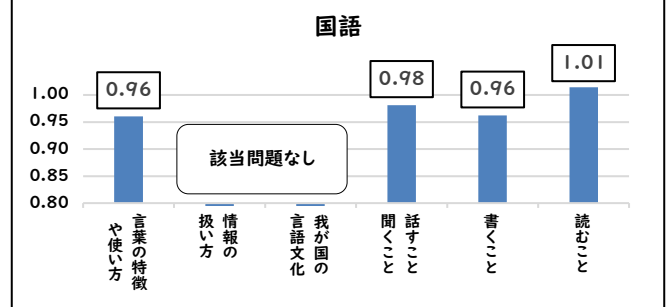
中学校

中学校理科は1人1台端末を活用したオンライン（IRT方式）で実施。IRTとは生徒の正答・誤答が問題の特性によるのか、生徒の学力によるのかを区別して分析し、生徒の学力スコアを推定する統計理論のことです。問題は全日程共通と実施日により異なる公開問題、生徒ごとに異なる非公開問題があります。

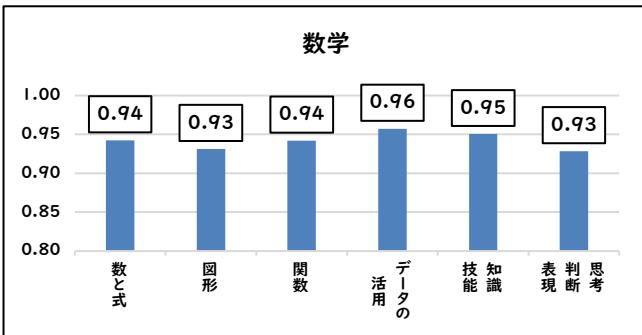


	令和7年度 正答率		
	国語	数学	理科 (IRTスコア)
全国	54.3	48.3	503
大阪府	52.5	46.7	487
摂津市	53.2	45.5	473
対全国比	0.98	0.94	0.94

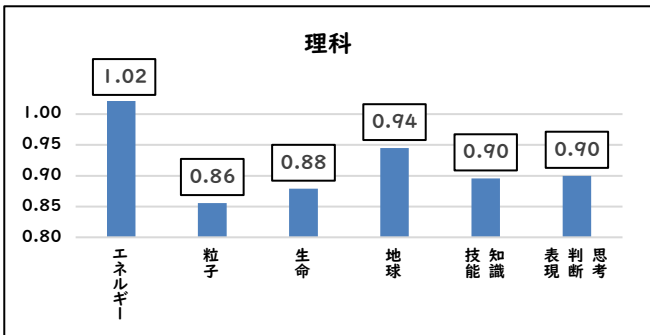
IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、全国平均を基準とした得点で表したものです。



「読むこと」の領域における問題で全国平均を上回っている。一方、目的に応じて要約し、他者の発言を踏まえて自分の考えをまとめる表現力に課題がある。



すべての領域で、同程度の結果となっている。「思考・判断・表現」を問う問題で正答率が低く、数学的な表現を用いて問題解決の方法を説明する力に課題が見られる。



「エネルギー」の領域における問題は全国平均を上回っている。一方、「粒子」「生命」の領域における知識・技能を問う問題で正答率が低い。基礎的・基本的な学習内容の定着に課題が見られる。

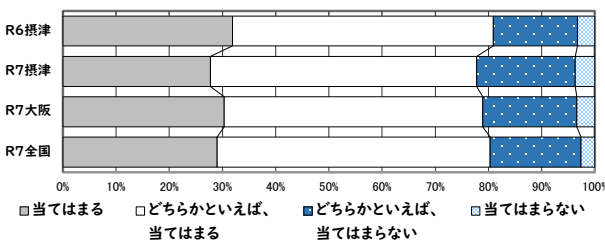
令和7年度 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査結果

小学校

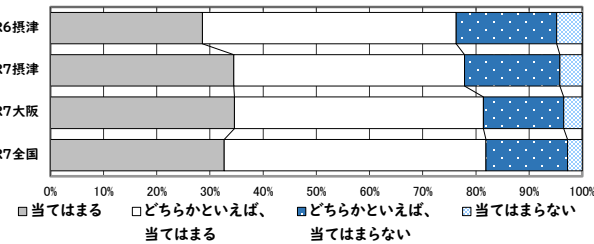
学びに向かう姿

「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」の肯定的回答が減少し、全国平均とおおむね同様
「分からないことやわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」の肯定的回答が増加

課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ



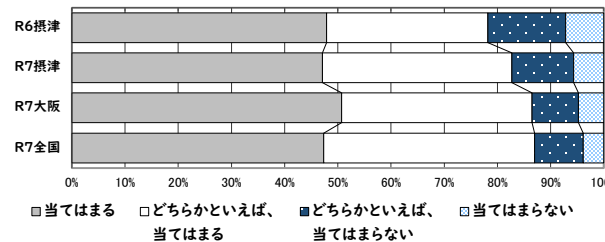
分からないことやわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



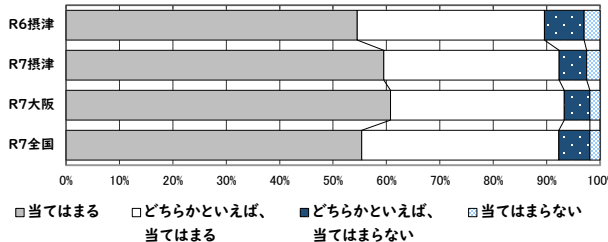
自尊感情

「自分には、よいところがあると思いますか」の肯定的回答が増加
「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の肯定的回答が増加

自分には、よいところがあると思う



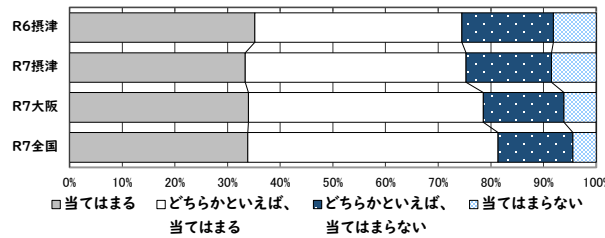
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



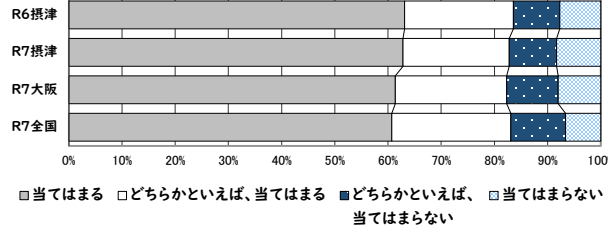
キャリア教育

「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の肯定的回答が増加
「将来の夢や目標を持っていますか」の肯定的回答は横ばい

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか



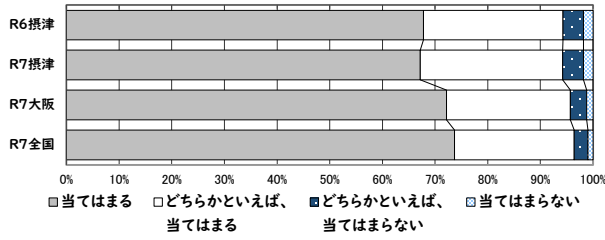
将来の夢や目標を持っていますか



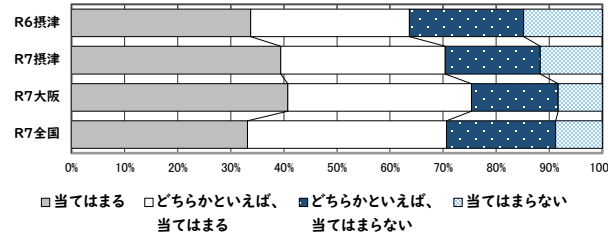
豊かな人間性／安全・安心な学校

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の肯定的回答は横ばい
「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の肯定的回答が増加

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



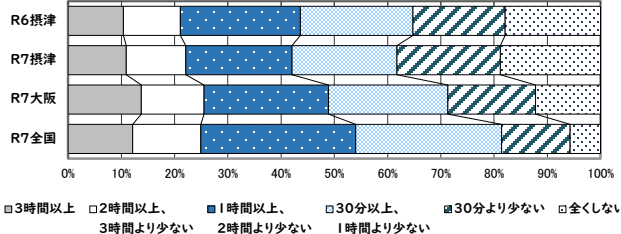
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



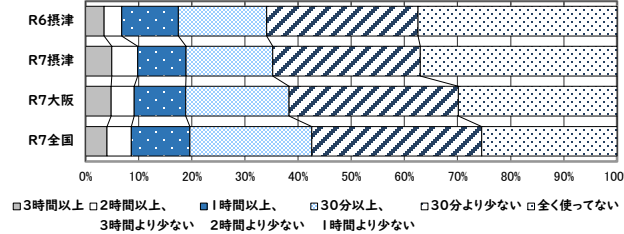
学習習慣

「授業以外で2時間以上勉強する児童」が増加。一方、「全くしない児童」も増加
「授業以外でICT機器を活用して勉強する時間」の質問で、「全く使ってない児童」が全国より多い

授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日に勉強をする時間



授業時間以外に、普段(月～金曜日)、ICT機器で1日に勉強する時間

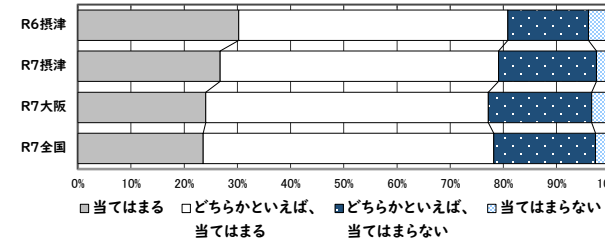


中学校

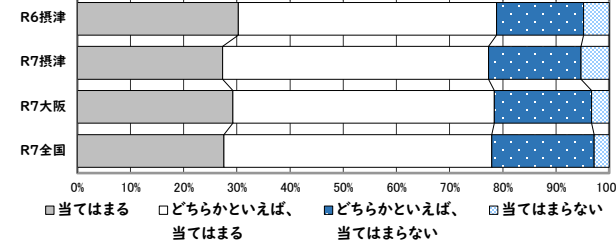
学びに向かう姿

「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」の肯定的回答が微減
「分からないことやわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」の肯定的回答が減少し全国平均とおおむね同様

課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ



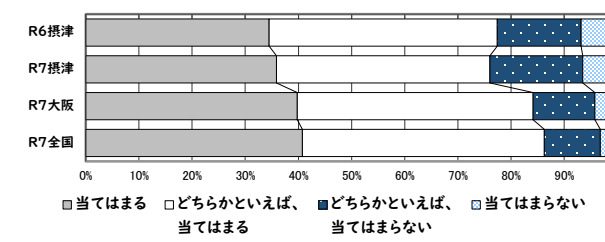
分からないことやわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



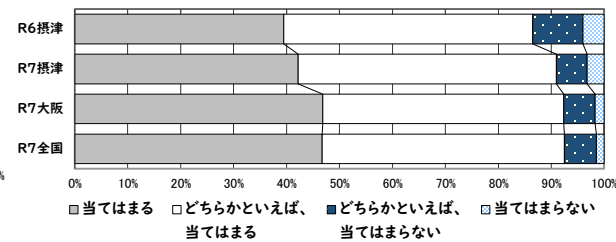
自尊感情

「自分には、よいところがあると思いますか」の強い肯定的回答が増加
「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の肯定的回答が増加

自分にはよいところがあると思う



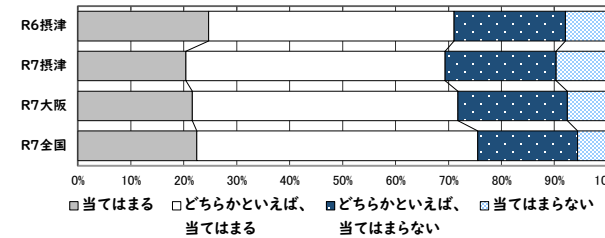
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



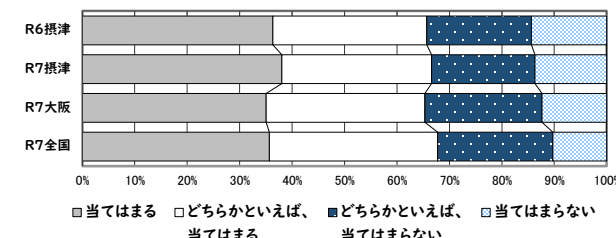
キャリア教育

「地域や社会をよくするために何をすべきか」の肯定的回答が減少
「将来の夢や目標を持っていますか」の肯定的回答が増加

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか



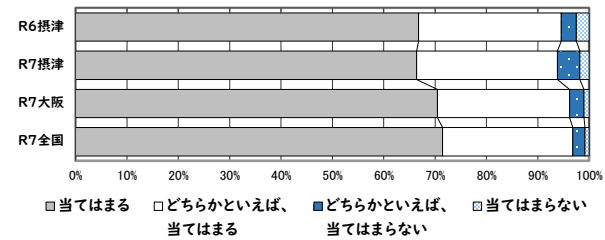
将来の夢や目標を持っている



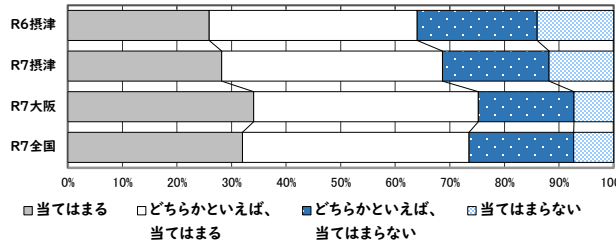
豊かな人間性／安全・安心な学校

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の肯定的回答は横ばい
「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の肯定的回答が増加

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



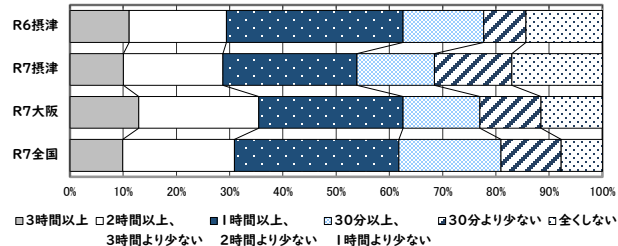
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



学習習慣

「授業以外で勉強する時間が30分より少ない」「全くしない」生徒が増加
「授業以外でICT機器を活用して勉強する時間」の質問で、「3時間以上」が増加したが、「全く使ってない生徒」も増加

学校の授業以外に普段(月～金曜日)1日に勉強をする時間



授業時間以外に、普段(月～金曜日)、ICT機器で1日に勉強する時間

